

2024ZENKO in 大阪 第12 分科会

「国益」・利益優先、軍拡・安全保障と一体化した ODA の「戦略的活用」路線反対、グローバルサウスとともに 平和・平等・連帯をかかげて闘おう



右 4月、日米比首脳会談を前に「軍事演習と戦争挑発に反対」のバナーを掲げて抗議デモを行うフィリピンの人々



2023年10月23日、首都圏団結まつりでアピールするティンウィンさん

2024ZENKO in 大阪 第12 分科会

- 日時:7月28日(日) 9:30~12:00
- 会場:エルおおさか研修1(大阪市中央区)
- 内容
 - ① 基調報告
 - ② インド、インドネシアからの連帯メッセージ
 - ③ アピール ティンウィンさん
ミャンマー(ビルマ)民主化活動家
- 当日参加費:一般 1,500 円
学生、障がい者、非正規職、無職 700 円
オンライン 700 円

政府は一昨年来、新たな「国家安全保障戦略」(2022年12月)と新「開発協力大綱」(2023年6月)の策定により、ODA・「開発協力」を安全保障戦略に完全に従属させ、事実上一体化させました。そして、新たな安保戦略に沿って ODA・「開発協力」政策を再編し、日系グローバル資本の利益追求を後押ししつつ、先進国主導の「国際秩序」の維持・強化のために資金等を動員する動きを本格化しています。この対外協力政策は、最近の政府・財界の「グローバルサウス(新興国、途上国)との連携強化」という言葉で表されますが、実質的には分断と対立をあおる「新興国、途上国の囲い込み策動」です。

この背景には、現在、「G7を極とする先進国の世界支配の揺らぎ」という歴史的な転換期を迎えていることがあります。日本政府と財界はこの現状に対して、「法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序」の維持・強化を戦略目標に掲げ、「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)新プラン」の下、オファー型協力や民間資金動員型 ODA などを加え、軍事援助である「政府安全保障能力強化支援」(OSA)と一体で ODA の「戦略的活用」を推し進めています。

分科会では、こうした情勢を踏まえて、グローバルサウス(国ではなく、グローバル資本と闘う人々)とともに、ODA の「戦略的活用」路線と対決する展望を議論したいと思います。

多くの方のご参加を訴えます。